

都市域における水循環の健全化

下水道と一体で治水安全度の向上や都市域の水環境を改善するニーズはありませんか？

●業務の背景

①都市内のアメニティ空間としての水辺空間がヒートアイランド対策と相まって、重要視されている。

②総合治水の観点からも健全な水循環や下水道における治水機能の見直しが治水対策上、重要視されてきた。

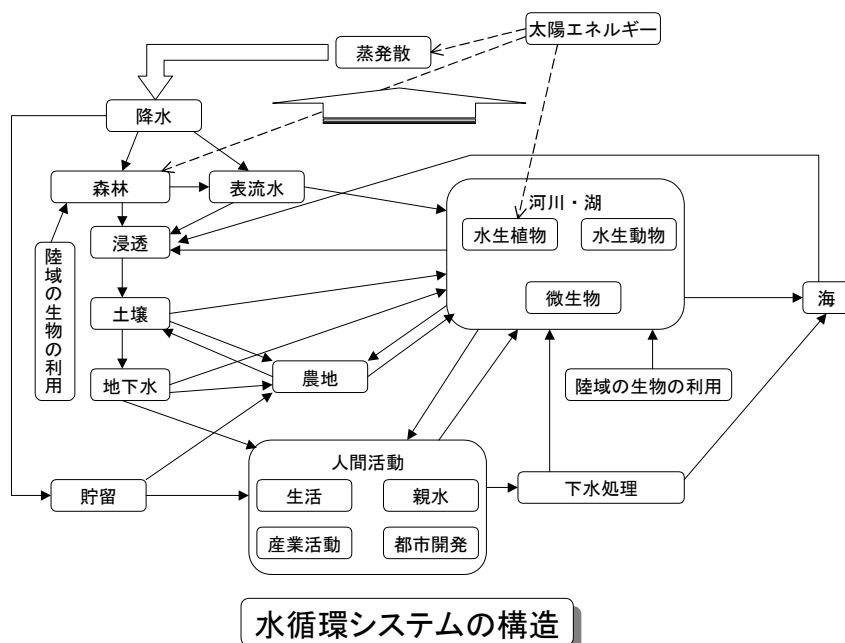
有効な対策をご提案します。

●業務実施上のポイント

我が国では、持続可能な開発、循環型社会の形成を目標に、水に関する環境庁、国土庁、厚生省、農林水産省、通商産業省、建設省の6省庁(現在5省)は、健全な水循環系の構築に関する考え方、取り組みなどについて議論を行う『**健全な水循環系構築に関する関係省庁連絡会議**』を設置し、『**健全な**

水循環系構築』のための様々な検討が行われています。

我が社では、あらゆる側面から総合的に水循環のあり方を検討し、これら実現に向けた各種施策の検討を行うなど、健全な水循環系構築のためのお手伝いをしています。



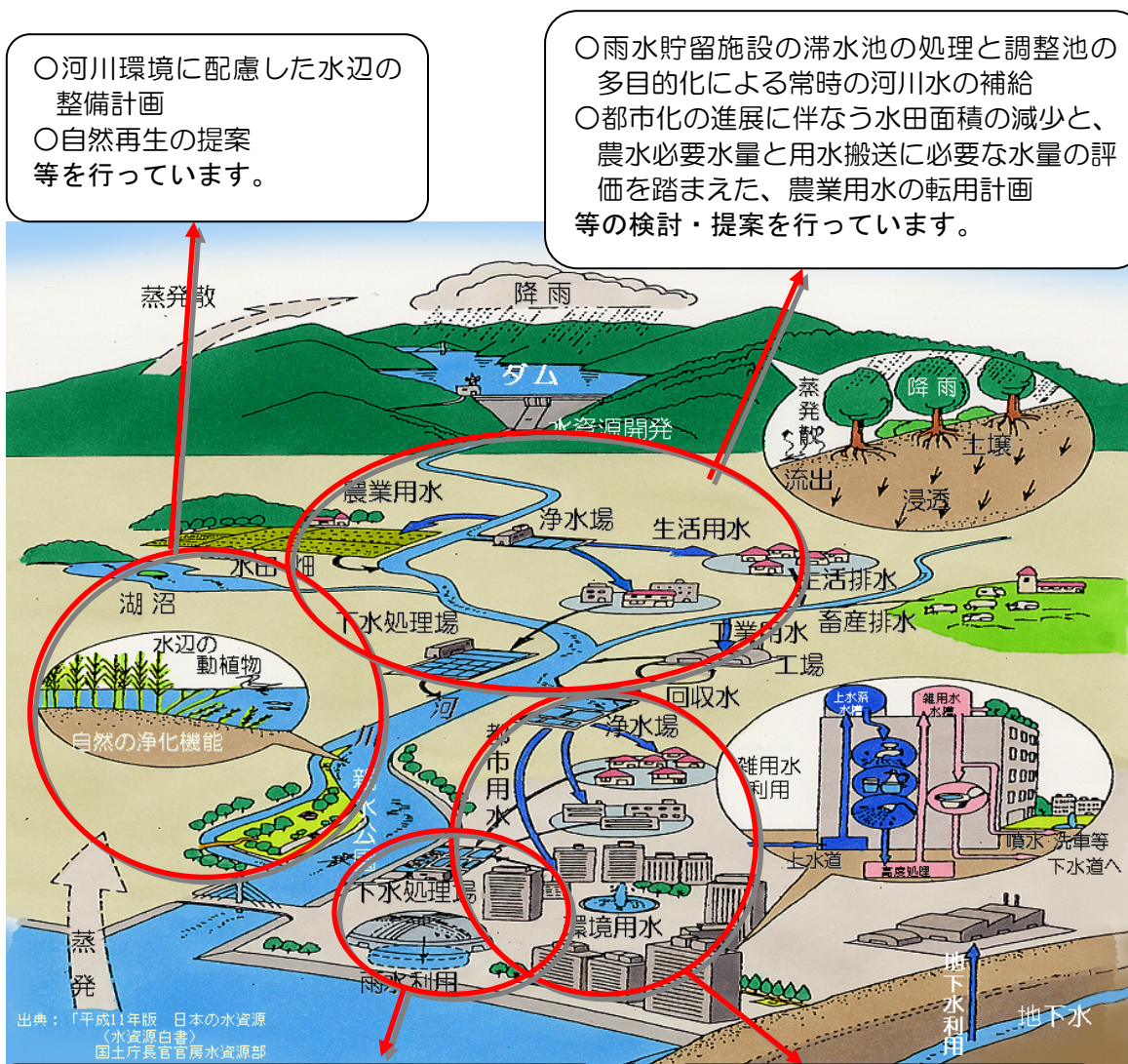
水の循環には、様々な要素が関わり、それぞれ役割を明確にした総合的な検討が求められます。

健全な水循環とは、限りある水資源を最大限に有効利用し、かつ環境への負荷を最小限にとどめられている状態が維持されていることです。

これらの実現のためには、水に関わるあらゆる事業者・管理者が連携を図り、住民や NPO 団体等とともに協力し合って検討を行

っていく必要があります。

我が社では、水に関わるあらゆるニーズに応えるべく、それぞれの役割における水循環のあり方を検討し具体施策についての提案をしています。



○河川環境に配慮した水辺の整備計画
○自然再生の提案等を行っています。

○雨水貯留施設の滞水池の処理と調整池の多目的化による常時の河川水の補給
○都市化の進展に伴う水田面積の減少と、農水必要水量と用水搬送に必要な水量の評価を踏まえた、農業用水の転用計画等の検討・提案を行っています。

○下水処理の高度化
○河川区域内での「なじみ放流（河川水質、水温等に見合った放流）施設の設置」の可能性
○雨水貯留池に治水機能、滞水池機能、環境用水貯留機能とを持たせて、河川・下水道の連携事業等の検討・提案を行っています。

文化の保全・都市の安全確保・周辺環境への影響・景観へ配慮した水路網再生事業等のお手伝いをしています。